



第29回総会賑やかに開催

川越法友会会報

第四十四号

令和6年7月17日発行

6月1日(土)、ラ・ボア・ラクテ川越で、「第29回川越法友会総会・懇親会」を開催しました。ご来賓6名を含め、総勢27名で、賑(にぎ)やかに、そして和やかに開催することができました。総会に提案された議案は、令和5年度の事業報告・決算、令和6年度の事業計画・予算で、全て可決されました。

今回は、コロナ禍で中断していた五大学の交流を復活させることと、近隣市の法政大学校友会組織との交流を深めることを目的の一つとして開催しました。お陰様で、立教大学川越立教会の門脇誠会長、早稲田大学川越稲門会の山田禎久副会長、さいたま市法友会の山口宣道会長・井上泰一相談役・大塚信之助副会長・所沢市法友会の本澤満副会長をお迎えして親睦を深めることができました。



さいたま市法友会 山口会長

懇親会は、川越稲門会の山田副会長によるユーモアあふれる乾杯で始まりました。恒例となっている参加者全員の1分間スピーチでは、参加者それぞれから近況報告があり、和やかに進みました。

締めめの校歌斉唱は、応援団OBでもある山田哲典幹事の指揮で肩を組み、気分は学生時代。元気よく行うことができました。



川越稲門会 山田副会長

令和6年度の取り組み

30周年記念式典

川越法友会は、来年度に設立30周年を迎えます。総会または新年会に併せて、記念式典を開催したいと考えています。



20周年記念式典の様子

今年度、お声掛けした埼玉

県内の法政大学の各校友会・川越市内の五大学の関係者に加えて、法政大学並びに一般社団法人法政大学校友会の方々をお迎えし、盛大に開催したいと考えています。

皆さんに喜んでいただけるようなアトラクションも考えていきます。

日程が確定しましたら、メーリングリスト等を通じてお知らせしていきます。多くの皆さんの参加をお願いします。

女性参加者の拡大

法政大学の学部生の男女比率は、昨年5月1日現在の数値で、全学部生2万7925人のうち、1万1305人が女性で、およそ40.5%を占めています。

川越法友会の活動参加者については、ほぼ男性で占められているのが現状です。わが母校は、現在の川越法友会活動の中核を担っている方々が通っていたところと様子が変わっています。本会で取り組む諸事業について、女性が参加しやすい仕組み・企画が必要であると考えています。

多くの方々のご意見を聞きながら、進めていきたいと考えています。

性別については、多様な考えがありますので、社会的には男女に限定することは適切ではない場合があります。多様性を尊重することで、多くの方々が集まることができると組織にしたいと思います。

広報活動

現在運用しているフェイスブックに加えて、ホームページを開設し

ました。URLは、以下のとおりです。

積極的に情報発信していきたいと考えています。ぜひ、一度ご覧になって、ご意見をお聞かせください。



https://hoseinet.or.jp/partner/local/kawagoe_20240521/



川越まつり 幟掲出

今年の川越まつりは、10月19日(土)、20日(日)の2日間わたり、開催される予定です。例年のとおり、札ノ辻交差点付近に法政大学の幟(のぼり)を掲げて、校友を歓迎したいと思います。

曳(ひ)きまわされる山車は、19台の予定です。川越の都市伝説で「川越まつり、一日は雨」というジンクスがあります。晴天を氷川の神にお祈りします。

寄付事業

リーディングユニバーシティ法政募金(奨学金)と箱根駅伝応援募金に寄付します。目的は、在学生の経済支援の一助と駅伝チーム合宿費用の助成です。来年の正月も、駅伝で楽しませていただきたいと思います。

スポーツ応援

春・秋の六大学野球をメインに、母校の応援に行きたいと思っています。長らく優勝の感激を味わっていないので、野球部の頑張りに期待します。野球以外のスポーツも、機会があれば応援を企画したいと思っています。

暑気払い・新年会

8月に暑気払い、2月に新年会を企画しますので。大勢の会員の参加をお待ちしています。4ページに、暑気払いのご案内を記載しましたので、ご覧になってください。

幹事会

ほぼ毎月、第3水曜日に、珈琲館川越新富町店で、18時30分から行っています。お気軽にご参加ください。

真行寺を訪ねて(その3)

前回は新編武蔵野風土記稿に記された真行寺を紹介しましたが、今回は、甲斐源氏の末



裔「真行尼物語」を紹介します。著者は柳内賢治氏で発行は、埼玉県飯能氏柳町十二ノ十の(株)文化新聞社となっております。飯能文化新聞に連載されたものをまとめて単行本として出版されたもので、初版は一九八六年十月二十四日となっております。

物語の中身に沿って記述していきます。

この真行尼は甲斐国の守護大名武田信虎の娘として生まれた八重姫の後の姿であります。

兄晴信(後の信玄)は京の公卿の筆頭である三条家から正室を迎えている。三条の方と称されている。この三条家から姉妹の一人が浄土真宗の本願寺へ嫁いでいます。八重姫が戦乱の世を厭い仏門に入るため嫂の縁を頼り石山本願寺に向かったのは天文十二年といわれております。それから七年間修行に励み真行法尼と名乗るようになります。

この頃甲斐の国では戦に明け暮れ民は疲弊しておりました。真行尼は、これを憂え国元へ帰る決心をしたのであります。国元へは帰りましたが、戦乱の為民百姓が苦しんでいるのを何も考えぬ兄信玄を離れ修行を積むため武蔵の地へ行く決心をしました。

女中のキヨとハマ、警護の者として岩崎兵庫、若山主計を伴い武蔵の國へ向かったのです。

女中ハマの里が武州吉田村であります。吉田村は武州松山

宿と小川宿のほぼ中間にあります。古府を出発してから六日目の夕暮れ近くに吉田村に着きました。吉田村では名主を勤めるおハマの家の離れで暮らすことになりました。その後、松山と川越の中間にある川島郷の虫塚というところにおハマの叔母が住んでいる屋敷を頼ったのであります。一方、岩崎と若山に婿入りの話が進み荒子村の百姓家に婿入りが決まりました。

秋の取入れもすっかり終わって十月には真行尼は、新しい庵へ移りました。その後ここを拠点に托鉢の為近郷の村々を廻ったのであります。(続く)
(71 経済 吉川泰夫)

ところざわサクラタウン

皆さんは、活字文化にどれほど接触しておられるでしょうか? どうしてもテレビやネットなどのデジタルによる情報に、多くの時間を費やすことが増えていると思えます。かくいう私も最近、ユーチューブやテレビの視聴が増えています。学生時代は勉学のこともあり、書籍、雑誌など活字との接触が、かなり

の割合を占めておりました。

先日、都心に出た帰りに東所沢にある「ところざわサクラタウン」を訪ねてみました。武蔵野線の東所沢駅より歩いて10分ほどの距離にあり、ホテルやグルメ、ショップ、また高校も併設されており、中でも人々の目を釘付けにするのは、「角川武蔵野ミュージアム」です。

本館は、建築家の隈健吾さんが設計を担当され、二万枚の石板で覆われた五階建ての建物です。それぞれの階には、趣向を凝らした展示が常設されております。四階、五階を貫く「本棚劇場」は、必見です。約二万冊の書籍で埋め尽くされた独特の本棚は、入館者の目を見張らせること間違いないと思えます。本棚を舞台としたプロジェクトマップは、大いに楽しめます。また、館長の松岡正剛氏による二万五千冊の本の「編み込み」も見所です。

川越からは、車で約30分ぐらいです。時間を見つけて、たまには活字文化と触れ合う一日を過ごしてみるのはいかがでしょうか?(70 経済 岩田信行)



新入会員紹介

柿森良一さん(77 経営)



1977年経営学部卒。長崎市出身。妻の実家である川越市に30年以上居住。現在、孫を含めて5人家族。趣味は、囲碁。主な職歴：「オリエントコーポレーションシステム子会社役員」↓「N T T データ部長」↓「K S K (東証) 取締役 2022 年 2 月 退任」↓「オフィス柿森代表（IT 顧問業、宅建講師）」。

5月18日(土)、さいたま市法友会の皆さんと一緒に、六大学野球春季リーグ戦・早稲田大学1回戦の応援に行ってきました。川越法友会からは、柿森さん、藤田の2人(栗原さんもいました)が、当日はさいたま市法友会からの参加でした)で行ってきました。先発の篠木君の好投で、8回裏二死までリードしていましたが、逆転され、悔しい敗戦でした。祝勝会のはずが残念会となり、ビールは苦かったです。早稲田大学・勝点5の完全優勝、おめでとうございます。

秋季リーグに期待しましょう。

今まで、校友会活動には全く参加しておらず、反省。法政大のステークホルダーに少しでも貢献したいと思い、藤田会長に相談したところ、川越法友会参加を快諾していただきました。これから、どうぞよろしくお願いたします。

暑気払いのご案内

8月3日午後4時から、川越駅西口の囲坊主で、さいたま市法友会と合同の暑気払いを開催します。

ご参加いただける方は、7月20日(土)までに、藤田宛、ご連絡ください。

(藤田)

090-1851-0986

会費 5千円

楽しいひと時を共有したいと思います。

埼玉県校友会新会長

6月8日(土)、浦和ワシントンホテルで、埼玉県校友会令和6年度総会が開催され、高田勝氏(川口法友会会長)が、新会長に選出されました。

令和6年新年会

2月18日(日)、本川越駅近くの香港菜館で、令和6年新年会を開催しました。

法政大学校友会の田中副会長やさいたま市法友会の山口会長など27名が集まり、お腹いっぱい、中華料理を堪能しました。



(編集後記)

今シーズンの野球部は、4年生が主力で強いとの前評判でしたが、神宮球場で2回応援しましたが、両日とも残念な結果でした。天気だけは良く、その後の日焼けに苦しめられました。5月の日差しをなめていました。秋リーグに期待します。(ふ)

川越法友会会報 第44号
発行者 藤田明義
編集 藤田明義
岩田信行
連絡先 藤田明義
〒350-0062
川越市元町1-8-17